

# 賢いバス停

(提案者)

グループ名: 金沢工業大学バスストッププロジェクト

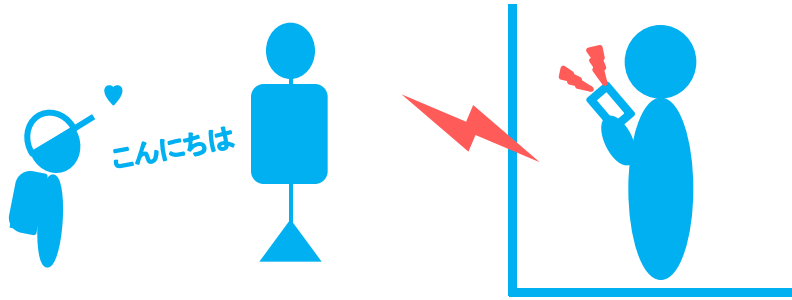
提案代表者: 金沢工業大学 4年 高倉 正道

参加者: 金沢工業大学 3年 油野 凌真

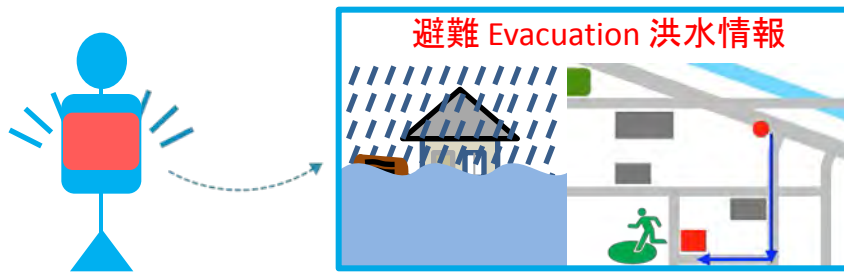
# 提案名：賢いバス停

## 概要

バス停にはディスプレイが付いており、時刻表やルートを表示します。またバス停と会話することにより、道案内や乗り換え、近くのお店の情報が聞けます。事前に子供の顔を登録しておくことで、バス停と会話したとき親に通知がいく見守りシステムや、災害時にイラストと地図で外国人でもわかりやすい避難指示を表示するシステムが搭載されています。



子供の顔を認識すると、保護者に位置情報を通知

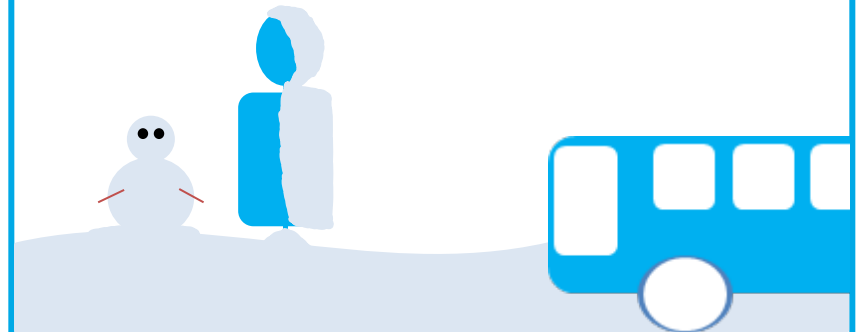


災害発生時、音とイラストで避難情報をお知らせ

## バス停をICTの力で、より賢く。

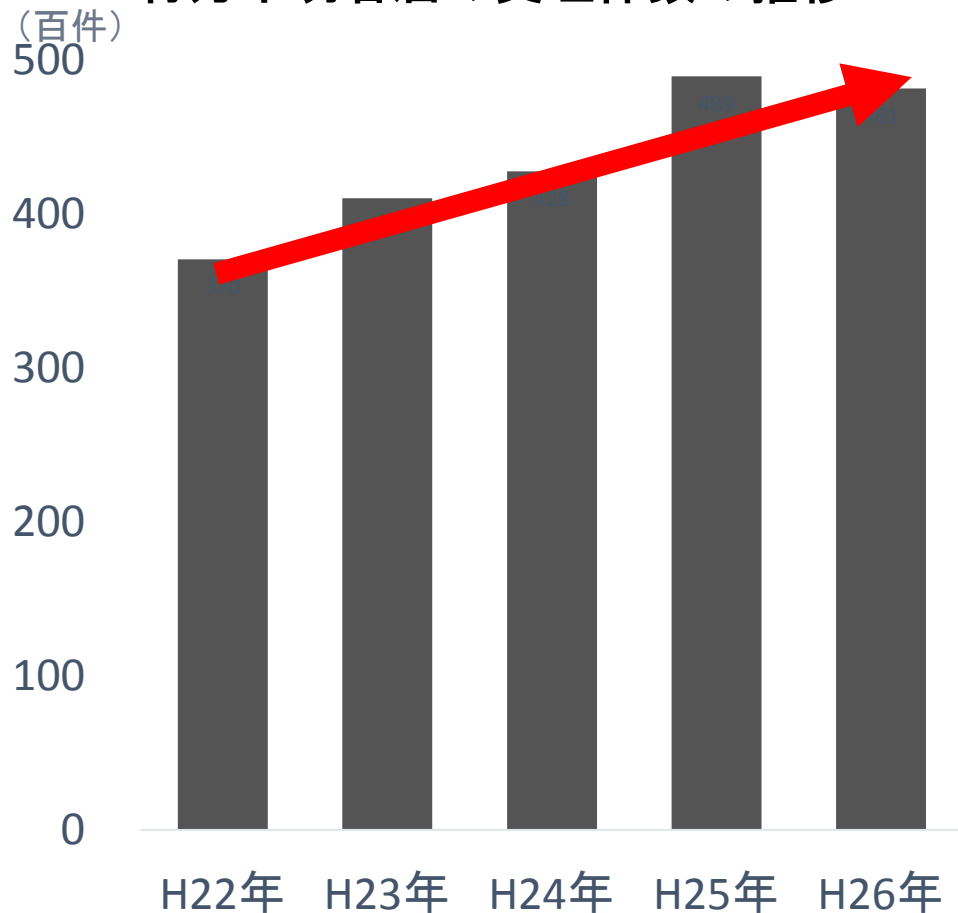
バス停にG空間情報とICTを用いて、見守りシステムや防災システムを搭載した新しい体験の提供をします。従来のバス停は目印としての役割が強かったですが、バス停と会話でき、日常生活に元気をもたらしてくれます。緊急時には助けてくれる、そのような賢いバス停です。

雪がバス停に積もっていても会話で操作のため、問題無く情報を入手できます。



# なぜ見守りをするのか

行方不明者届の受理件数の推移



行方不明者が年々増加傾向になっている

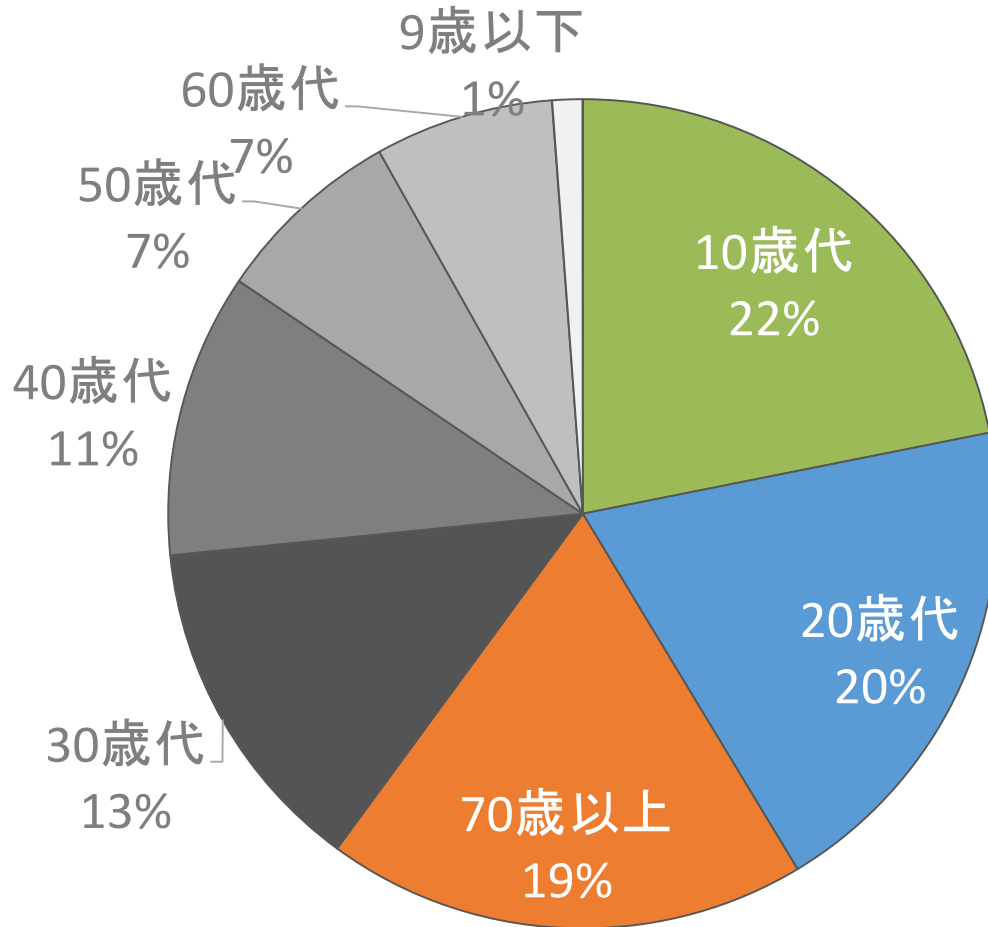
4年間で

**1万件増**



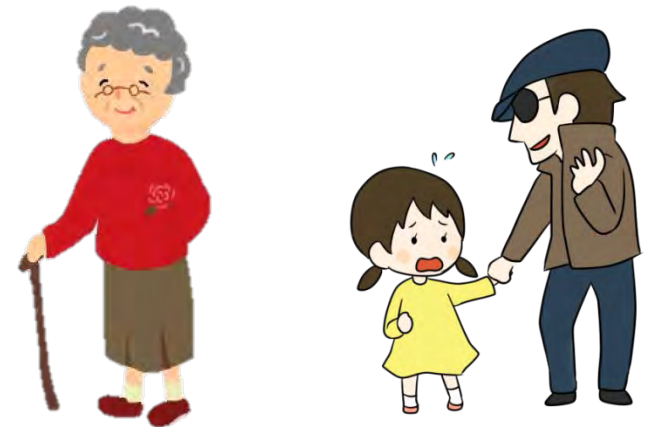
# なぜ見守りをするのか

行方不明者の年代別割合

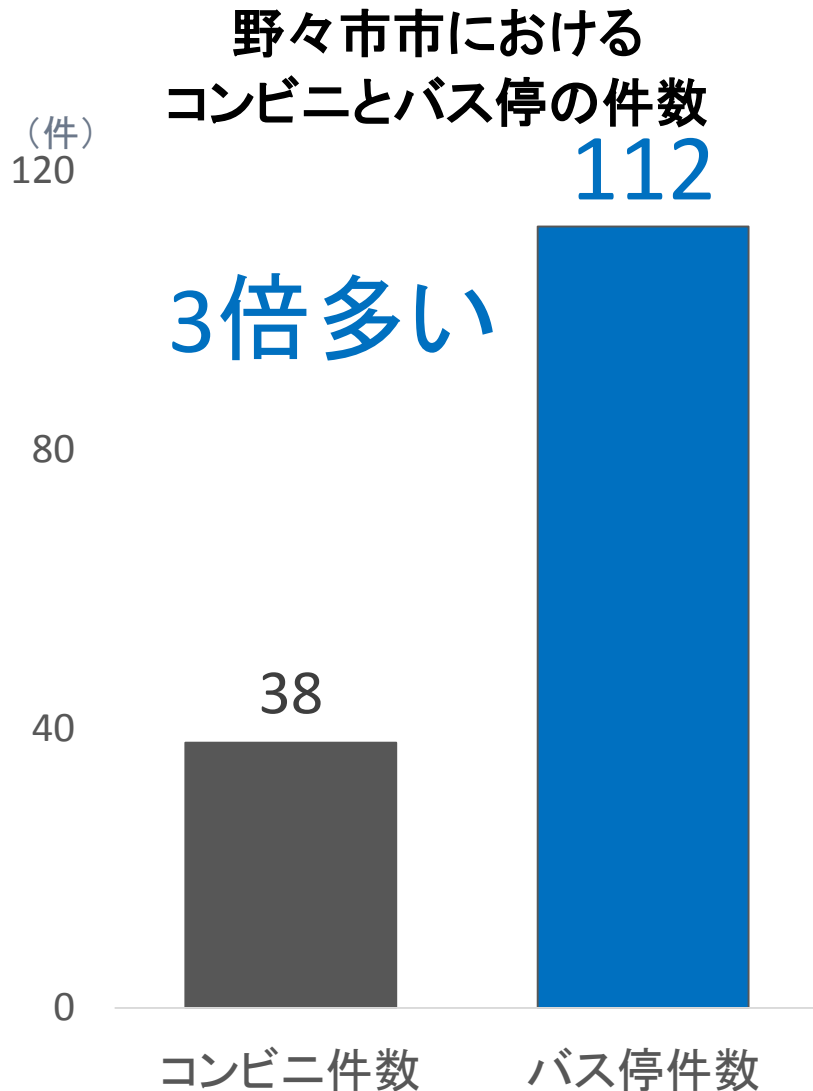


若い世代、高齢者に多い

子どもへの安全や  
高齢者の徘徊が問題



# 顔を認識すると、保護者に位置情報を通知



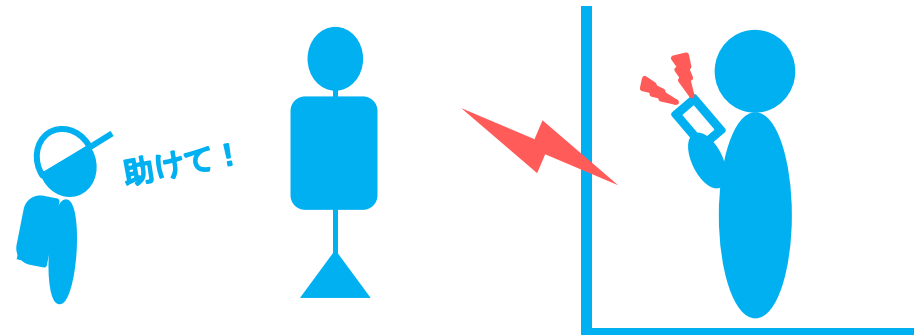
現在は

集団下校  
地域住民のパトロール  
監視カメラの映像解析



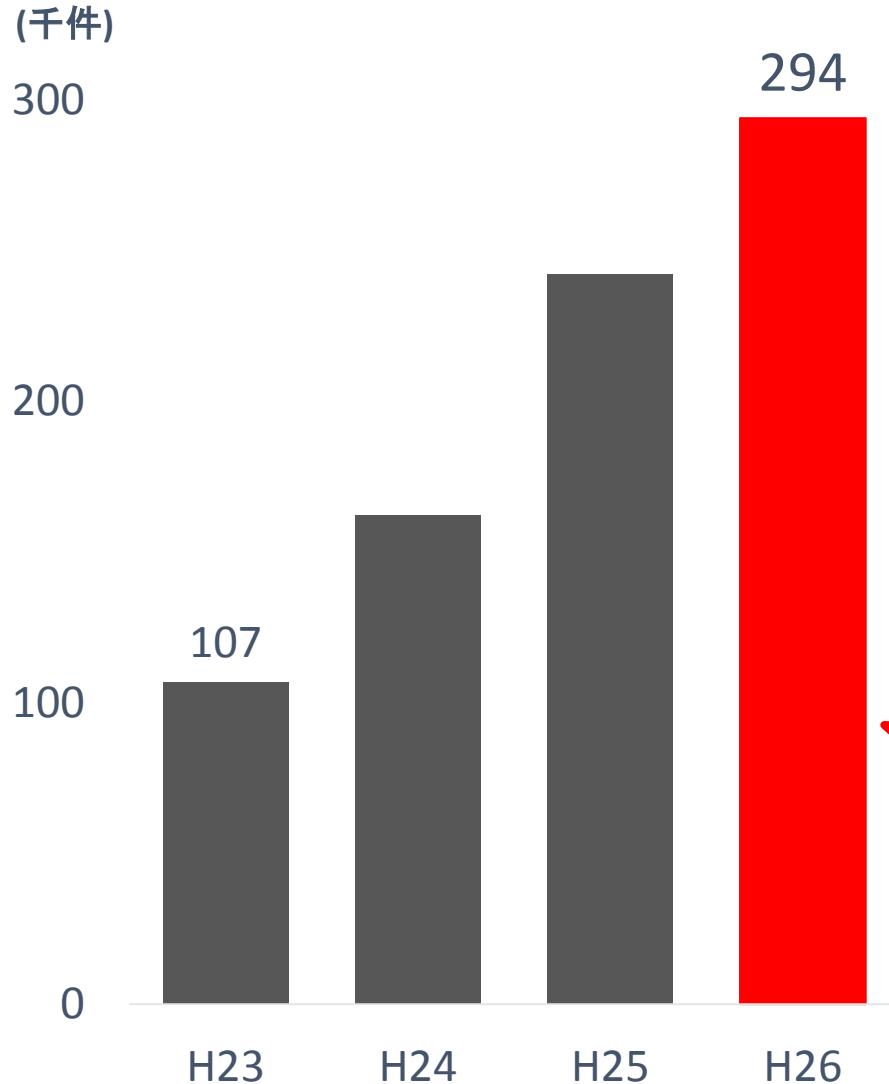
今後は顔を自動認識で見守り

匿名でデータを保存など個人情報に配慮



# なぜ災害に取り組むのか

## 石川県の外国人宿泊者数



関東・東北水害のとき、  
言葉の壁により外国人の  
避難が遅れた

**誰もがわかるように  
対応する必要がある**

台湾、韓国、中国  
香港、アメリカ、欧州  
豪州、東南アジアなど

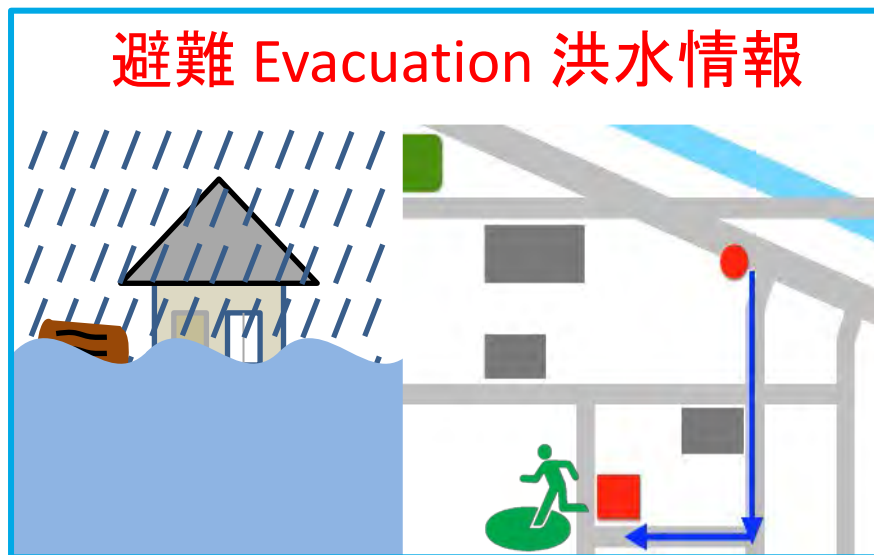
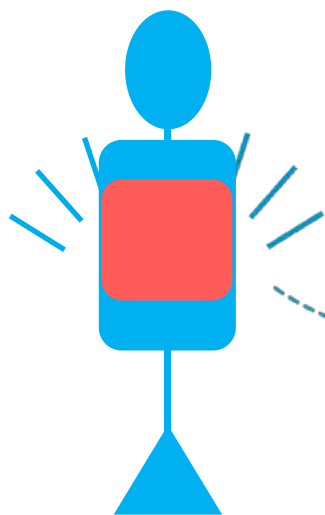
# 災害発生時、音とイラストで避難情報をお知らせ

現在は

防災無線  
避難誘導看板  
広報車の呼びかけ



今回は音やイラストで  
だれでも一目でわかる



## 対象ユーザ

見守り



子供や高齢者がいる家族

防災



外国人

## 提供主体(支援元)

野々市市

地域振興課 環境安全課 地域包括支援センター



# 費用とスケジュール

## 費用 (1つ当たり)

費用項目	金額
カメラ・モニター代	6万円
通信費	1万円
その他工事費など	3万円
合計	10万円

## スケジュール

### 1年目

3つのバス停で  
実証実験

(防水対策の検討など)

### 2~4年目

精度向上と  
エリア拡大

### 5年後

バス停をWi-Fiス  
テーション化や  
広告として使用

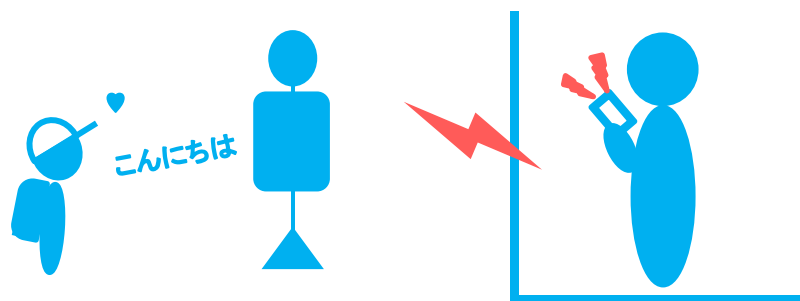
# 提案名：賢いバス停

## まとめ

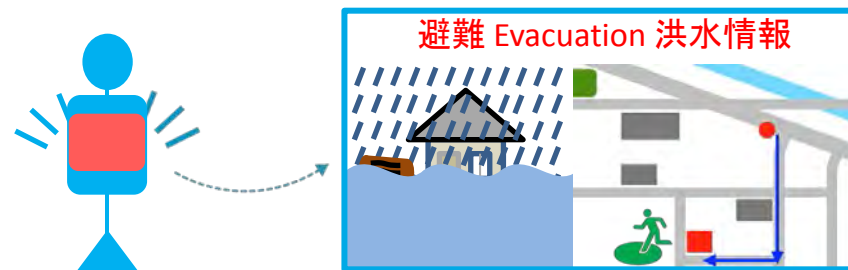
単なる時刻表やルートを表示だけでなく、会話を通して

- ・ 道案内
- ・ 見守り
- ・ 乗り換え
- ・ 避難誘導
- ・ Wi-Fiスポット
- ・ 会話機能
- ・ 近くのお店の情報（広告など）

など様々な情報を教えてくれる賢いバス停です！



子供の顔を認識すると、保護者に位置情報を通知



災害発生時、音とイラストで避難情報をお知らせ



